

山形コロニー放課後等デイサービス シード【自己評価表】

山形コロニー放課後等デイサービス シード では、事業所が提供するサービスの質について、評価・点検を実施しました。より良いサービス提供を目指すとともに、自己評価を公表することで、地域みなさまに安心して利用していただくことを目的としています。なお、この自己評価表は厚生労働省が定める「放課後等デイサービスガイドライン」をもとに作成した「保護者向けアンケート」の回答結果、及び自事業所の自己チェックとなる「事業所向けアンケート」の意見等を踏まえ、「自己評価」としてまとめたものです。

「○」：おおむね良好といえる 「▲」：より良くしていきたい 「×」：改善が必要

	チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	・当日の利用人数や活動内容によると思う。 ・訓練している際の様子を余り見ておらず、よくわかりません。	○	・利用児童の増加により、狭いと感じることもあるかと思えます。訓練カリキュラムでの振り分け、スペースを有効に活用する等、工夫しながら支援しています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	—	○	・当事業所は人員基準を超える職員を配置しております。保育士・児童指導員等の有資格者が配置されています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	・適切と思う。 ・階段が急でした。	○	・福祉施設の建物基準は満たしており、バリアフリー化もされています。 ・建物2階に行く際にはエレベーターも設置されておりますので、ご利用下さい。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	—	○	・支援開始前、終了後にスタッフミーティングを実施しています。当日の支援内容と振り返り等を行い、日々業務改善を図っています。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	—	○	・今回、初めて保護者向けのアンケート調査を実施しました。アンケート結果の評価や意向を参考にしながら、業務改善に努めより良いサービス提供に努めます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	—	○	・今回、初めて自己評価結果をホームページにて公開しました。今後も定期的に公開していきます。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、調査結果を業務改善につなげているか	—	▲	・現在、第三者評価は実施しておりません。今後、当法人では事業所間で行う内部監査を実施し、より適正な業務管理のための体制づくりを検討しています。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	—	○	・OJT、OFF-JT等、研修計画に基づき、必要な研修機会を確保しています。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	・とても的確な計画内容になっておりすばらしいと思います。	○	・保護者、利用児童とのアセスメントにて現状の課題や目標、ニーズを確認しつつ、段階的に達成できるような計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	—	○	・独自のアセスメントツールを使用しています。今後もより良いものとなるよう改善に努めていきます。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	—	○	・毎日スタッフミーティングにて、個別支援計画や意向に沿った活動プログラムを提供できるよう企画・立案しています。
	⑫ 活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	・工夫していると思います。いくつかの活動プログラムがあることに驚きました。 ・全てがスムーズにはいかない場に置いて、対応等まで工夫されています。 ・事務作業、プラグ・タッグ組立、清掃作業の他にもパソコン入力や取り扱いについても考慮して頂けるとありがたいです。 ・活動プログラムがどのようなものが良くわからない。	▲	・それぞれの目標や発達段階に応じて、各種作業体験、生活自立度・社会性やコミュニケーション能力の向上支援など、意向に沿いながら活動プログラムを日々工夫し設定しています。 ・シードの「活動プログラム」については、内容や目的を記載した一覧表を作成し、保護者の方に配布しています。不明な点がある場合にはいつでもお問合せ下さい。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	・土曜日や長期休みの利用もとても楽しみにしています。	○	・日々のスタッフミーティングにて課題を共有し、それぞれの活動プログラムの中で目的意識を持って支援できるよう努めています。 ・放課後、休業日のサービス提供時間に応じて、それぞれ工夫して支援しています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	—	○	・現状の目標や課題、意向を考慮し、個別活動・集団活動を組み合わせ計画を作成しています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	—	○	・1日1日の支援予定表を作成しています。スタッフミーティングにて当日の支援内容・役割分担について確認しています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	—	○	・毎日、支援終了後にスタッフミーティングを実施しています。当日の支援状況の振り返り、情報共有及び支援方法の検討等を行っています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	—	○	・5W1H、事実と推測を意識しながら記録しています。第三者が見ても、支援状況が正確に理解できるように努めています。
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	—	○	・6か月以内に一度を基本としつつ、必要に応じ適宜モニタリングを実施しています。支援の進捗状況、達成度、意向等を考慮しながら、適宜計画内容を変更しています。	
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	—	○	・職業体験、作業体験、自立度向上支援、創作活動、地域交流機会、余暇活動等、多様な活動プログラムを提供しています。 ・「できた」「わかった」という成功体験の蓄積を重視し、自信の醸成、自己理解、自己選択できるよう支援しています。	

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	—	○	・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。必要に応じて児童発達支援管理責任者に加え、直接処遇職員も参加してもらっています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	—	▲	・利用児童が多く在籍する学校とは、年間・月間予定表をいただいたり、適宜連絡調整を図る等、適切に情報共有が図れています。一方、情報共有・連絡調整が十分ではない学校もあるので、今後一層の連携を図れるよう努めます。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	○	・医療的ケアが必要な児童は現在利用していません。必要に応じて主治医との連絡体制を確立し、緊急時の対応ができるよう努めます。
	㉓	子どもが他の放課後等デイサービスを利用している場合、放課後等デイサービス間で情報共有と相互理解に努めているか	—	○	・支援状況や活動内容等、相談支援事業所とも連携しながら、他放デイとの役割分担の確認や情報の共有に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	—	○	・相談支援事業所とも連携しながら、障害福祉サービス事業所はもちろん、一般企業等への移行会議等にも積極的に参加しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	—	○	・児童発達支援センター、発達障害者支援センター、障害者職業センター等、各専門機関の研修には積極的に参加しています。必要に応じて助言をいただきながら支援の参考にさせていただいております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	—	▲	・現状、障害の無い児童との交流機会は余りありません。中高生を対象としてサービス提供していること、グレーゾーンの方も多く在籍していること、一部の児童は障害を知られたくない等の意向もあり、難しい面もあるかと思えます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	—	○	・自立支援協議会（子ども部会）が開催される時は、都度参加しています。
保護者への説明責任等	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	・細かい点、教えて頂き大変ありがたく思っています。 ・連絡帳が利用日の紙を貼るだけのノートでしかない。どんなことをしたとか写真をプリントアウトしたもの等を貼ってほしい。 ・年1・2回話をすることはありますが、日頃となると…。	▲	・「連絡帳」には当日の活動プログラムの他、必要な連絡事項を記載したり、必要に応じて電話連絡等をしてはいますが、保護者の方より「どんなことをしたのかわからない」とのご意見もありました。当事業所では、自宅までの送迎をしていない為、保護者がお迎えに来てくださる方に関しては状況をお伝えしていますが、特に自立して帰宅する方に関しては情報伝達が十分では無かったと思われれます。 ・今後、連絡手段や方法を工夫し、活動状況が分かるように努めます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	—	▲	・家族会／進路相談等の機会に、地域の社会資源や就労支援情報等の情報提供はしていますが、ペアレントトレーニング等の研修は実施していません。今後、保護者向けの研修会等を検討していきたいと考えています。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	—	○	・利用契約の際に説明しています。運営規程・重要事項説明書等に変更がある場合には、随時説明しています。
	㉛	保護者から子育て、不安・悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言を支援を行っているか	・就労に関してわからないことがたくさんありましたが、その都度質問に応じて頂きたくさんの情報を下さりとても助かっています。	○	・心配ごとや悩み等、保護者からの相談には随時応じています。必要に応じ助言や情報提供を実施しています。
	㉜	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	・仕事の都合で参加できないこともある。 ・行事に行っておらず、すいません。 ・参加できる機会がありませんでした。	▲	・年に一回の家族会の他、家族の方々も参加できるような行事を毎年開催しています。より保護者同士の連携を支援できるような機会の増加については検討していきたいと考えています。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	・苦情があるかどうかも分からないので全くわかりません。	▲	・苦情受付担当者、苦情解決責任者の体制を整備・周知し、定例の苦情解決委員会を行っています。また、迅速に対応できる体制を構築しています。 ・苦情の有無／解決状況等の周知方法については、今後もより良い方法を検討していきます。
	㉞	定期的に会報を発行し、活動内容や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	—	▲	・定期的な会報の発行はしていません。ホームページでの情報発信等についても不十分と思われれます。今後、定期的に情報発信できるよう努めていきます。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	—	○	・個人情報記載された書類等は、個人情報保護マニュアルに沿って、厳重に管理しています。また、データについてもパスワードを設定する等、適切な対応を図っています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	—	▲	・必要に応じて視覚支援ツール・補完ツールを作成する等、わかりやすく情報伝達できるよう配慮しています。より良い説明ツールや補完ツール等の整備に努めていきます。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	・利用期間が短い為、まだわかりません。すみません。 ・機会はあるが息子はまだ参加していません。	○	・事業所単独でのお祭り（シード祭り）には、地域の学校の先生方を招待したり、協会行事にも積極的に周知しながら開かれた事業運営に努めています。

		チェック項目	保護者向けアンケートによるご意見等	自己評価	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	・わかりません。	▲	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルは、法人作成のものを職員に周知し、業務上徹底した管理を行っています。 保護者に対しては、各種マニュアルは配布していません。これらの内容がよりわかりやすく伝わるよう、事業所のオリエンテーションブック（利用者用）の項目に入れ、周知はしています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 年2回、避難訓練を行っています。事業所単独でも定期的に避難訓練を実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、法人内で研の機会を持っています。また、日常的な確認体制を整えています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 「やむを得ず身体拘束を行う」といったケースは現状ありません。今後、身体拘束のケースが想定される場合には、必要な手順・方法を遵守し計画に記載します。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師指示書に基づく対応がされているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 食物アレルギーの有無等については、利用開始時に必ず確認しています。必要に応じて医師指示書を提出を求めています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	—	○	<ul style="list-style-type: none"> 毎日全支援者で確認し、活動環境の安全を確保する体制を取っています。
満足度	④⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	<ul style="list-style-type: none"> 安心できる場となり通所をととても楽しみにしています。 利用開始から間もないので、まだ緊張していて楽しいとは言っていない。 言葉遣いが乱暴な他児童が来る場合には、怖がる傾向がある。 自由な時間が楽しいようで時々は休みたいということがある。 	▲	<ul style="list-style-type: none"> シードでは、早期職業準備トレーニングや生活自立度の向上を特色としています。日々の様々な活動について、楽しいと感じて下さる方も多いですが、そのように感じる方ばかりではないかもしれません。 作業活動や学習機会の中で、成功体験・経験の蓄積、自信の醸成、理解の促進等ができるよう支援しています。今後も将来の生活を見据えつつ、ライフステージや本人の発達段階に合わせた必要な学習や体験機会を楽しみながらできるようより良い支援の提供に努めていきます。
	④⑮	事業所の支援に満足しているか	<ul style="list-style-type: none"> 親子共に満足しています。 社会に出てから必要なコミュニケーション等を学んでいる点が良い。 職員の皆さまが笑顔でいつも丁寧に対応して下さるのでとてもありがたく思っています。 	○	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方々のご理解とご協力が、私たちにとっても最も重要な支援だと思っています。今後とも、成長に必要な機会等について私たちと共に悩み、考え、活動していただけますよう、お願いいたします。